

プロテオブリッジ株式会社

(東京都江東区, 代表取締役 熊谷亮)

2018年1月設立、2025年5月 AISolスタートアップ 第8号認定

世界最大規模のヒトタンパク質アレイにより 自己免疫疾患の医学進歩に貢献

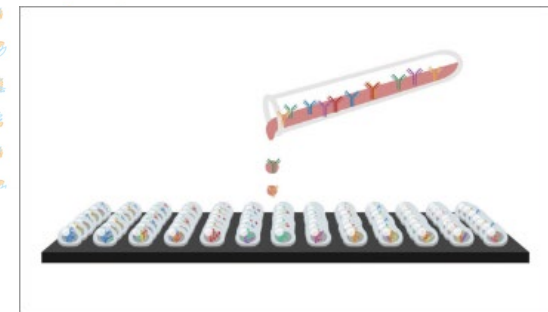
主な技術 : 高精度に自己抗体を測定するタンパク質アレイ技術
ヒト発現タンパク質の80%を網羅するライブラリ

主なサービス : 膠原病の病態解明、早期診断を促進する自己抗体測定サービス
網羅型ヒトタンパク質アレイを用いた解析サービス

プロテオブリッジは、産総研で研究し、蓄積してきた世界最大規模のヒトタンパク質のライブラリ (HuPEX) を基に自己抗体を精度高く迅速に測定するアレイ技術を開発しました。この技術を活用し、主に自己免疫疾患の病態解明と新しい診断手法の創出に貢献するスタートアップです。

自己免疫疾患の一つである膠原病は発症初期になかなか診断がつかず、医師にとっても診断が難しい病気です。プロテオブリッジは、複数の膠原病 (強皮症・筋炎・シェーグレン症候群) に対して、病態と関連するすべての自己抗体を、同時に測定するための研究検査を開発・上市し、貢献してきました。

AISolは、プロテオブリッジの技術の先端性、臨床現場の課題であった膠原病の早期診断への貢献、事業を起ち上げてきた実績、また産総研とのシナジー*を高く評価し、AISolスタートアップに認定しました。今後、AISolは産総研と一体となって、プロテオブリッジの事業成長、海外への展開を支援します。自己免疫疾患をはじめとした医療業界への新たな価値提供を共に推進します。



ヒト発現タンパク質の80%を網羅するライブラリを基に、自己抗体の有無を解析するタンパク質アレイ技術を開発



膠原病の病態を反映するすべての自己抗体を載せたカスタムアレイを使い、強皮症・筋炎・シェーグレン症候群に関連する自己抗体解析事業 (A-cube) を上市した。